

現状を踏まえた課題の整理



1. 家庭から排出されるごみの減量、資源化に向けた課題

- 家庭ごみ … 資源化可能物の含有
- プラスチック製容器包装 … 分別協力率の停滞
- 不燃の小物 … 可燃物の含有、小型家電類の含有
- 集団回収 … 回収量の鈍化、古紙価格下落による団体への収入減
- 適正負担に関する検討 … 家庭ごみ有料化の検討

2. 事業活動に伴い排出されるごみの減量、資源化に向けた課題

- 排出実態は一様ではなく、規模や業種別の把握
特に、小規模事業者のごみ排出実態の把握
- 事業者による分別排出では、人的、経済的負担が増加
事業者にとってコスト削減に繋がる情報の提供、メリットの周知
- 搬入物調査、排出事業者および許可業者への適正な排出誘導
- 適正負担に関する検討 … 搬入手数料改定の検討

3. 時代に応じた収集体制構築に向けた課題

- 高齢化等、社会的要因に応じた分別収集体制の整備
- 各種リサイクル法改正に対応した分別収集体制の整備
- 収集作業・選別作業従事者の安全確保

4. 安定した中間処理施設等の運用に向けた課題

- 「第四工場」の老朽化（昭和56年竣工、築後40年経過）
令和10年3月完成を目指し、新清掃工場（第6工場）の整備
- 令和15年度以降の埋立処分場の整備については、未定
現在の埋立処分場をできる限り長期間利用できるよう、ごみ減量と最終処分量の削減を進めることが必要